

平成29年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

平成 29年 10月 31日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 社会福祉法人 岡山中央福祉会
養護老人ホーム岡山市会陽の里
氏 名 施設長 藤岡 理恵

平成29年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

取組の名称	「お帰りなさい」今日も元気に会陽の里安全パトロール隊	
取組の概要	小学校の安全見守りパトロールを始めたきっかけは町内会長様より「地域のパトロール隊も高齢になり人が少なく困っている」と話を伺った事です。いつも地域の皆様にしていただくばかりでなく、施設からも地域に出向き何かできることがあるのではないかと考え活動開始。出発時間などの決め事や幾つかのトラブルを経て隊員も固定され、パトロールが自分たちの役割として責任を持つ意識が芽生えました。通学路で出会う子供たち・住民の方々との関わりが、地域の一員として活躍できる場があること、「自分も人の役に立てる」という自信と生きがいを創り、身体が不自由になっても社会参加ができることへの喜びと誇りを大切に、これからも活動を継続します。	
協働団体	雄神安全パトロール隊	
取組の実施期間	始期：平成 25年 4月～	<input type="checkbox"/> 平成 年 月終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 平成 年 月頃終了予定 ※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	「お帰りなさい」今日も元気に会陽の里安全パトロール隊
平成 29 年度募集テーマ	楽しんで年を重ねられる社会のために
テーマとの関連	<p>私たちは「高齢者の人権を尊重した自立支援、社会への平等で完全な参加の実現」を理念に掲げ、高齢になり障がいがあっても自分らしく生きる個別支援の実践を目指しています。</p> <p>老人ホームに入所される皆さんは、何らかの障がいを持ち、そのために生活する（生きる）ためには介護や支援が必要となってしまわれた方です。他者の助けがないと生活できないことは辛いことであり、希望や楽しみも薄れがちです。その中で、施設から外に出向き地域の方と接すること、そして子供たちを見守るという社会的使命感と責任感がやがいに繋がり、地域隊員や保護者の皆さん・小学校の先生方から掛けられる感謝の声が達成感と誇りを生み、「こんな自分達でも誰かの役に立てる」という大きな自信と生きがいになりました。何よりも子供たちに「会う」ことが楽しみとなり、毎日の下校時間が待ち遠しく、夏休みなどの長期休暇でパトロールが休みになると、ちょっぴり元気をなくしてしまう隊員もいます。</p> <p>老人ホームに入所しているから特別ではなく、地域住民のひとりとして、障がいがあっても社会性のある生活を送ること＝ノーマライゼーション（障がい者と健常者が、お互いに区別されることなく社会生活を共にするのが望ましい姿であるという考え方）の実現に向けて、これからも地域の皆さんと協働で一步ずつ進めていきたいと考えており、この度のテーマである「楽しんで年を重ねられる社会のために」目指すべき社会の姿の実現に呼応すると感じています。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p><目的></p> <ol style="list-style-type: none"> ①老人ホーム入所者の皆さんの社会参加 ②高齢で障がいがあってもできるやりがい・生きがい・楽しみ作り ③地域の様々な世代との交流 <p><老人ホームの状況と課題></p> <p>昭和35年岡山市東区富崎に開設、平成9年現地（岡山市東区久保）に建替え、開設以来57年雄神学区にあります。65歳から101歳まで、日常生活が自立している方からほぼ寝たきり状態（要介護5）の方まで80名が入所されています。</p> <p>学区内の保育園・小学校・中学校・地域交流プラザ等と交流があり、運動会・入学式・卒業式・お祭りなど各種行事にご招待を頂いています。</p> <p>毎年9月第1土曜日に開催している、会陽の里まつりには500名以上の皆様が来場されます。</p> <p>老人ホームに慰問やボランティアに来てくださる方は個人から団体まで様々ありますが、老人ホームから地域に出て何らかの社会活動に参加することは無し。外出も、外食やカラオケ・買物墓参りなど趣味や嗜好の希望をかなえるものが多く、一時的な社会参加に終わっている状況。</p> <p>長年雄神学区にあり、地域の皆さんも「会陽の里という老人ホームがある」ことは知っていてもそれ以上の関わりは少なく、入所している皆さんも「会陽の里の入所者」であり「地域住民」という意識は残念ながらほとんど無いのが現状でした。</p> <p><活動開始のきっかけと目標></p> <p>平成24年の小学校行事へ参加している時に、いつもお世話になっている連合町内会長さんから「安全パトロールに参加してくれる人たちが、段々と高齢になり減ってしまって困っている」と聞きました。</p> <p>いつも地域の皆さんにさせていただきばかりでなく、老人ホームから地域に出向き、「何か貢献できることがあるのではないか！」と職員同士で話し合い、とにかくやってみようと思えました。</p>

<p>取組の内容</p>	<p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数等</p> <p>岡山市立雄神小学校の児童 1年生から6年生まで約20名</p> <p>2 取組の担い手：取組への参加団体、参加人数等</p> <p>雄神安全パトロール隊 → 雄神学区地域住民有志 約15名 雄神安全パトロール隊会陽の里班 → 養護老人ホーム岡山市会陽の里 入所者・職員 10名</p> <p>3 活動内容、実施方法など</p> <p>平成25年4月 岡山市学校支援ボランティアに登録し活動開始 雄神安全パトロール隊より、安全パトロールの帽子とタスキを頂く。</p> <p>日々の活動内容 <活動日=毎週月・水・木・金曜日> 15時 黄色帽子とタスキを掛けて準備、玄関前に集合。 15時15分 老人ホームを出発。 雄神小学校の下校時間に合わせ、老人ホーム横の道路を移動し通学路に立ち、 子供たちの帰りを待ちます。</p> <p>○学校行事や一斉下校など、変更あり。 毎月、下校予定時刻表を雄神小学校が発行、雄神安全パトロール隊の隊長である連合町内会長さん が施設まで届けてくれます。 ○子供たちを待っている間、地域隊員さん達と井戸端会議に花が咲くこともあります。</p> <p>15時30分頃 子供たちが順番に帰宅します。 「お帰り」、「ただいま」とハイタッチで挨拶します。</p> <p>15時45分頃 通学路に子供たちの姿が見えなくなってから、老人ホームに帰ります。 明日の予定を確認して解散します。</p>
--------------	--

	団体名（代表者）	この取組で果たしている役割	団体自身にとってこの取組をする理由やメリット
協働団体とその役割等	雄神安全 パトロール隊 （代表者） 雄神学区 連合町内会長 天久 嘉弘 様	平成18年2月 地域の安全安心ネットワークの 活動の一環として立ち上げ 雄神小学校の登下校時の 見守りを実施	地域の子供たちの安全確保及び 地域全体の防犯意識の向上
取組の工夫 取組の特徴	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点を記載してください。</p> <p>*パトロール隊への参加＝老人ホーム入所者を人的資源として考え、可能な地域貢献へ。 活動開始当初は参加者・参加人数もバラバラでした。お部屋に閉じこもりがち・役割を持ちたいが何をしてもよいかかわからない・することがなく退屈・気分が落ち込んだりイライラしやすい方へ職員が声を掛けて参加を進めていました。 徐々に自主的な参加者が増えメンバーも固定されてきましたが、障がいのため時間が分らず集合時間に遅れたり、体調によって参加するか否かぎりぎりまで迷って出発が遅れ、責任感の強いメンバーが焦り、仲たがいがいたり幾つかのトラブルが発生しました。トラブルを解消し皆が楽しく参加できるよう話し合いの場（茶話会）を持ち、ルール作りを行いました。 今でも、春休み・夏休み・冬休みの長期休暇ごとにパトロール隊メンバーで茶話会を実施、お菓子やたこ焼きを食べながら話し合いを続けており、茶話会も皆の楽しみのひとつになっています。</p> <p>現在では、メンバーの中で班長を決めており、職員が声掛けしなくてもメンバー同士で他者に声を掛けて参加者が増えています。またお互いの体調を気遣って相互に声を掛ける姿が見られるようになりました。</p> <p>◎協働する各団体の役割分担や、団体間の目的の共有の仕方、対等な協働関係を築いていくための工夫など、具体的に記載してください。</p> <p>*役割分担と協働 パトロールの分担は、活動開始当初から、居住地域から比較的近い通学路を担当しています。遠距離の移動は難しいことと徒歩圏内のみでの活動としています。 同じ時間帯にパトロールされている地域隊員の方達が、田んぼの向こうから大きく手を振ってくださったり自転車で乗った地域隊員さんが、気楽に声を掛けてくださるようになりました。 毎月、連合町内会長さんが届けてくださる下校予定時刻表を、心待ちにしています。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントを記載してください。</p> <p>*子供たちとの交流・自然に始まったハイタッチでの挨拶 活動開始当初は、子供たちに何と声掛けしてよいかかわらず、小さな声で「お帰りなさい」と言うのが精一杯、子供たちも始めてみる面々に「誰？」というちょっぴり不思議そうな表情をすることが続きました。 1ヵ月程経過すると、隊員たちも大きな声で「お帰り」と声を掛けることができるようになり、すると小学3年生の元気な男の子が「おっす！」「ただいま」とハイタッチで応えてくれるようになり、それをきっかけに他の子供たちも次々とハイタッチで挨拶してくれ、今ではパトロール隊員全員で右手を出して待つ姿が恒例になりました。</p> <p>*パトロールに必ず持参する救急箱 元気一杯の子供たちは、時々帰り道に膝や肘を擦りむいたりすることがあります。何度かそんな光景に出会い、隊員から「カットバンを持って行こう」という意見が茶話会で出て、簡易の救急箱を持参するようになりました。 ある日通学路の途中でしゃがみ込んで泣いている低学年の女子児童を見つけ、側に駆け寄ると転んで顔面にケガをして出血！急いで救急箱の消毒とガーゼで応急処置、一緒に帰宅していた友人が自宅に知らせに走ってくれ、駆けつけたお母さんに無事パトタッチ…隊員も同行していた職員もほっと一安心。「救急箱持ってて本当に良かった！」</p>		

	<p>*骨折からの復活！ パトロール活動開始当初は、自力歩行されていた女性隊員さん、一番最初からずっとメンバーです。何しろ子どもが大好き！下校してくる児童の人数をいつも数えてくれます。 平成26年8月にお部屋で転倒され、残念なことに骨折しました。その後より、以前のように自力で歩行することは困難になりましたが「子供たちに会いたい」その一心で車椅子に乗りパトロールに復活、数ヵ月後には手押し車で歩けるまでになりました。 現在、車椅子に乗る時と、車椅子を押して歩く日とありますが、雨の日以外はパトロールを欠かすことはありません。彼女にとってパトロールに行くことは、大好きな子供たちに会う楽しみと自分の役割であり、元気な証しになっています。</p>
<p>成果・効果</p>	<p><パトロールがきっかけで見えてきた「生きる」支援と社会活動> 地域に貢献しようという思いから始めたパトロールでしたが、結果としてパトロール隊員に新たな楽しみ・地域の一員として活躍できる場があること、・「自分も人の役に立てる」という自信と生きがいを創りました。 老人ホームでの生活ですが、地域社会の一員であるという思いが強くなり、家（施設）の中だけで生活するのではなく、外に出て活動することでたくさんの繋がりが生まれ、その繋がりは財産です。また、身体の状態に合わせて自分のできることをすることで、高齢でも身体が不自由になっても社会参加・活動ができます。</p> <p>同行する職員も、協働してくださる連合町内会長さんをはじめとする雄神安全パトロール隊の皆様・いつも元気一杯の雄神小学校の児童と保護者の皆様・小学校の先生方・通学路ですれちがう住民の方々など、たくさんの皆さんと関わる機会が増え、老人ホームだから特別ではなく、どこで生活していても社会性のある生活を送ることが「人としての生きがい・生きる」につながることを改めて実感しています。支えてくださる地域に感謝、そしてパトロール隊の笑顔は私たちの誇りです。</p> <p><地域との繋がりが増えた！（小学校や地域の各種行事への参加）> 小学校の運動会や学区体育大会・地区盆踊り大会・福祉交流プラザまつり等々、各種行事へ参加させて頂くと、パトロールで出会う子供たちは勿論その保護者の方からも声を掛けて頂くことが増えました。運動会では地域隊員さんと一緒に児童代表から感謝状を受け取りました。小学校の授業で、車椅子体験や昔遊びを取り入れて老人ホームを訪問して下さることもありそんな時のパトロール隊員の嬉しく誇らしげな表情は、これまでに見ることでできなかった表情です。 また、小学校の校長先生や連合町内会長さんから、心温まる感謝の言葉を掛けて頂き、隊員も職員も一同感激！皆、心から喜び、ますますパトロールの楽しみとやりがいが大きくなっています。パトロールを始める前は「会陽の里の人」と呼ばれていましたが、今は「〇〇さん」と名前で呼んでもらえるようになったことも喜びの一つであり、自分たちの役割として責任を持つ意識が強くなっています。</p> <p><平成29年度 地域防犯功労者> 会陽の里パトロール隊の隊長が、平成29年度防犯功労者として平成29年6月8日に、岡山東警察署・岡山東防犯連合会より感謝状を授与されました。パトロール隊結成5年目の大きな栄誉です。</p>
<p>今後の活動展開 など展望</p>	<p>*今後の活動展開 現在の活動を、これからもできるだけ長く継続していきます。 活動内容は、今以上に拡大することは難しいと考えていますが、無理せず長く続けていきます。</p> <p>私たちの活動を他の老人ホーム（高齢者入所施設）に知って頂き、安全パトロール隊の輪を他の地域にも広げていきたいと思えます。</p>

「お帰いなさい」 今日も元気に会陽の里安全パトロール隊！

*平成25年4月 岡山市学校支援ボランティアに登録、活動開始



「パトロール隊の黄色い帽子とタスキ」

*下校時刻に合わせて出発します！



*** 通学路で待機、その間、地域の隊員さんとパトロール話に花が咲く！**



「田んぼの向こうからも地域隊員さんが大きく手を振りご挨拶」

*** 子供たちが帰ってきました！！**



＊「お帰り」「ただいま」 待ちに待った大切な時間です♪



「暑い日も、寒い日も休みません」「寒い日はちょっと辛いけど頑張っています」



*** 小学校の運動会で感謝状を頂戴しました。**



*** 平成29年6月8日 地域防犯功労者として感謝状を授与されました。**



「これからも頑張ります！」